

「WORK分析をしよう 合格数編」

WORK分析もJP分析同様に、シートに合格した銘柄数を数える合格数検索があります。

そして、合格した銘柄数をグラフに表示するにはチャートから行います。

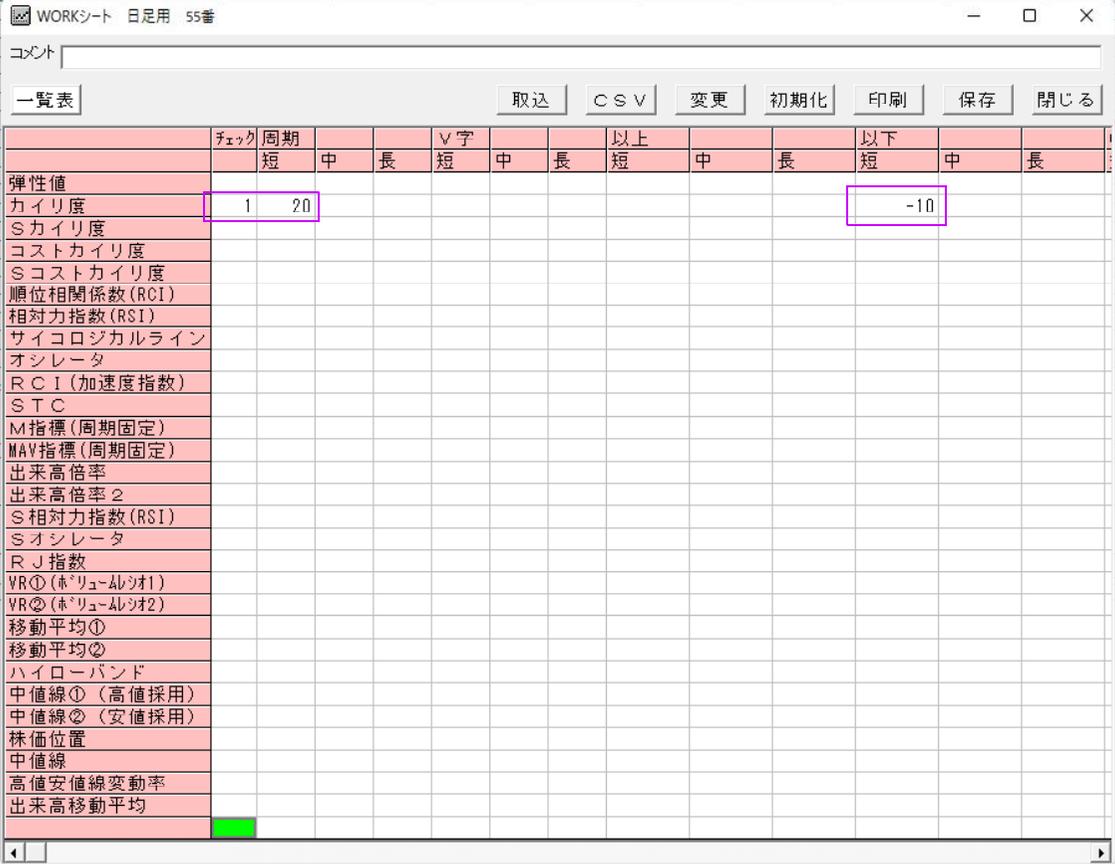
一連の手順を解説します。

■合格数を調べる

例. 20日カイリ -10以下

まずはWORKシートで下記のように設定します。

日足55番シートを使用しました。



	チェック	周期			V字			以上		以下			
		短	中	長	短	中	長	短	中	長	短	中	長
弾性値													
カイリ度		1	20									-10	
Sカイリ度													
コストカイリ度													
Sコストカイリ度													
順位相関係数(RCI)													
相対力指数(RSI)													
サイコロジカルライン													
オシレータ													
RCI(加速度指数)													
STC													
M指標(周期固定)													
MAV指標(周期固定)													
出来高倍率													
出来高倍率2													
S相対力指数(RSI)													
Sオシレータ													
RJ指数													
VR①(ボリューム①)													
VR②(ボリューム②)													
移動平均①													
移動平均②													
ハイローバンド													
中値線①(高値採用)													
中値線②(安値採用)													
株価位置													
中値線													
高値安値線変動率													
出来高移動平均													

周期は「20」と1つしか使いませんので「短」の項目に入力していきます。

「合格数検索」で下記のように設定します。

今回は、日経平均採用銘柄の合格数調べます。

WORK 合格数検索

実行 中止

日足検索
 週足検索
 月足検索

シート編集 ユーザー銘柄管理

シート一覧表

シート 55 番~ 55 番まで

検索開始日付 検索終了日付

20221215 20231129
20221216 20231130

全銘柄
 東証
 東証プライム
 東証スタンダード
 東証グロース
 東証その他

名証

日経平均採用
 JPX日経400採用
 信用銘柄
 貸借銘柄
 ユーザー銘柄(1~9999)

「実行」をクリックすると銘柄が回り出し、すぐに画面が消えます。

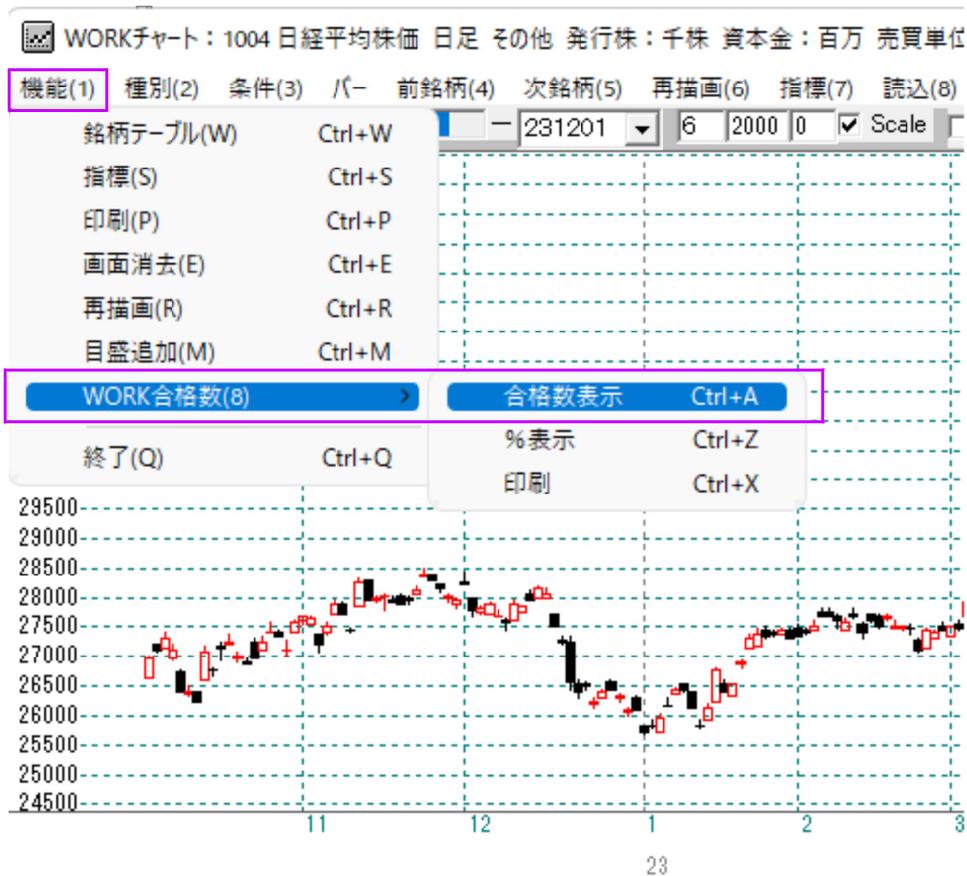
対象が225銘柄しかないため処理時間はかかりません。

ここまでの手順で合格数が保存されています。

次は、チャートから合格数のグラフを表示させてみましょう。

■合格数を表示させる

「機能」 → 「WORK合格数」 → 「合格数表示」 をクリックします。



「55」と入力し「OK」をクリックします。

The dialog box titled '合格数検索結果表示' (合格数検索結果表示) contains the following text: '合格数検索結果を表示させる 1 から 100 までのシート番号を入力してください。' (合格数検索結果を表示させる 1 から 100 までのシート番号を入力してください。). The input field contains the number '55'. The 'OK' button is highlighted with a blue border, and a red arrow points from the input field to the 'OK' button. The 'キャンセル' (Cancel) button is also visible.

チャートの下に合格数グラフが表示されます。



■いろいろな合格数グラフ

では次に25日移動平均線が上向きとなった銘柄数を調べてみましょう。

上向きの設定は、昇降の項目に「1」を入れます。57番シートを使いました。

WORKシート 日足用 57番

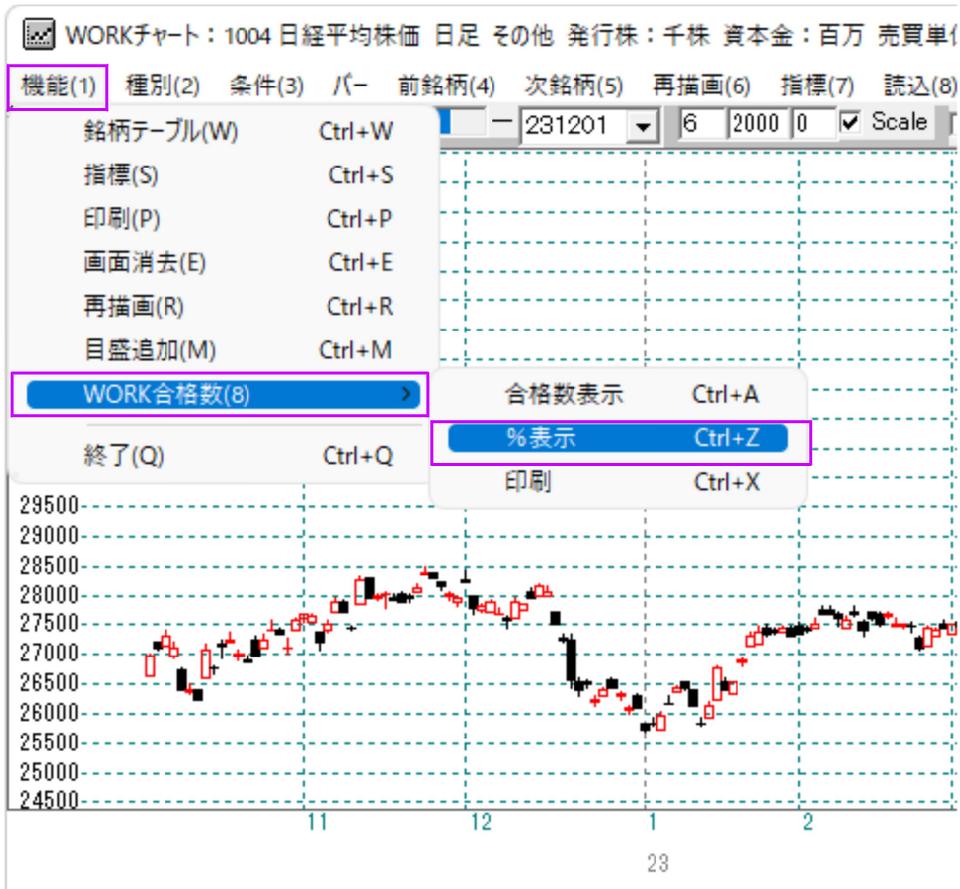
コメント

一覧表 取込 CSV 変更 初期化 印刷 保存 閉じる

	大小			昇降		基準値			上下抜			◎本幅	以	
	短中	中長	短長	短	中	長	短	中	長	短	中	長	以上	以
弾性値														
カイリ度														
Sカイリ度														
コストカイリ度														
Sコストカイリ度														
順位相関係数(RCI)														
相対力指数(RSI)														
サイコロジカルライン														
オシレータ														
RCI(加速度指数)														
STC														
M指標(周期固定)														
MAV指標(周期固定)														
出来高倍率														
出来高倍率2														
S相対力指数(RSI)														
Sオシレータ														
RJ指数														
VR①(ボリューム①)														
VR②(ボリューム②)														
移動平均①														
移動平均②				1										
ハイローバンド														
中値線①(高値採用)														
中値線②(安値採用)														
株価位置														
中値線														
高値安値線変動率														
出来高移動平均														

「機能」 → 「WORK合格数」 → 「%表示」

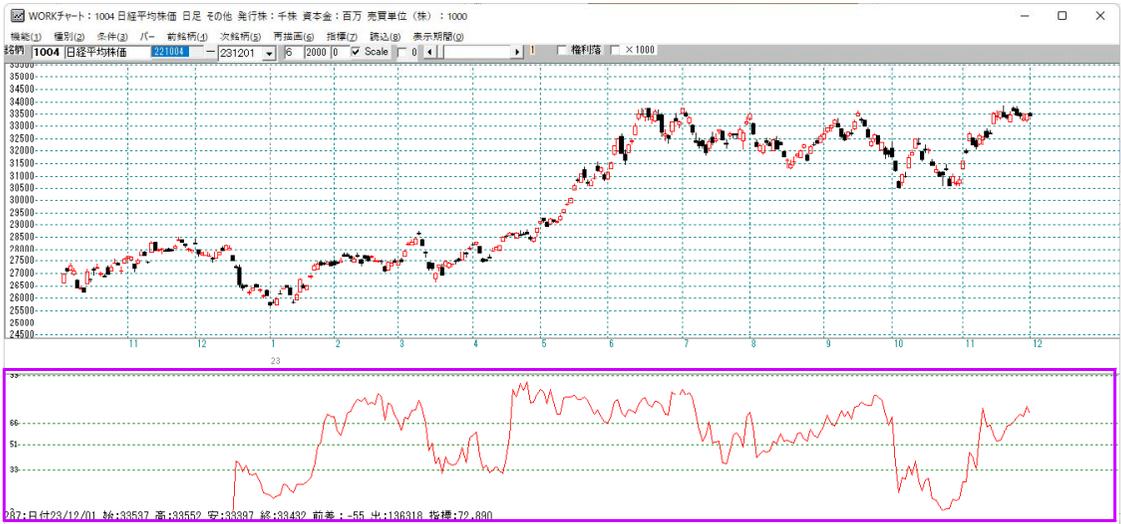
今度は、数ではなく%表示でグラフをみてみましょう。



「57」と入力し「OK」をクリックします。



このように表示されます。



続けて、25日移動平均線が下向きとなった銘柄数を調べてみましょう。

下向きの設定は、昇降の項目に「3」を入れます。58番シートを使いました。

WORK分析シート 日足用 58番

コメント

一覧表 取込 CSV 変更 初期化 印刷 保存 閉じる

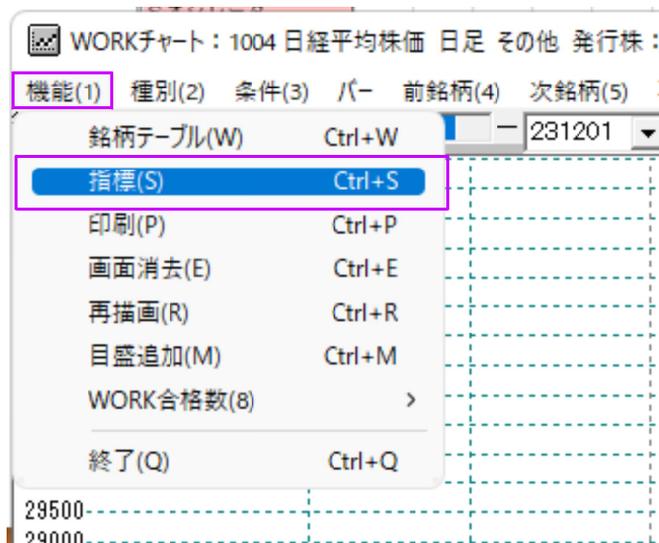
	大小			昇降			基準値			上下抜			本幅	以
	短中	中長	短長	短	中	長	短	中	長	短	中	長	以上	以
弾性値														
カイリ度														
Sカイリ度														
コストカイリ度														
Sコストカイリ度														
順位相関係数(RCI)														
相対力指数(RSI)														
サイコロジカルライン														
オシレータ														
RCI(加速度指数)														
STC														
M指標(周期固定)														
MAV指標(周期固定)														
出来高倍率														
出来高倍率2														
S相対力指数(RSI)														
Sオシレータ														
RJ指数														
VR①(ホリュームシオ1)														
VR②(ホリュームシオ2)														
移動平均①														
移動平均②							3							
ハイローバンド														
中値線①(高値採用)														
中値線②(安値採用)														
株価位置														
中値線														
高値安値線変動率														
出来高移動平均														

こちらでも%表示です。



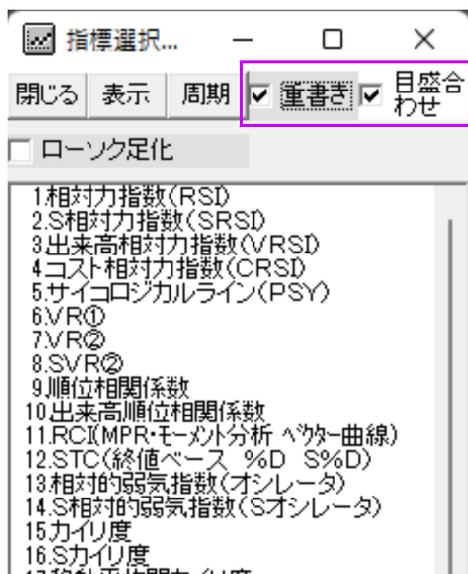
このグラフに先の「25日移動平均線が上向きとなった銘柄数のグラフ」を重ねて表示させてみましょう。

「機能」 → 「指標」 をクリックします。

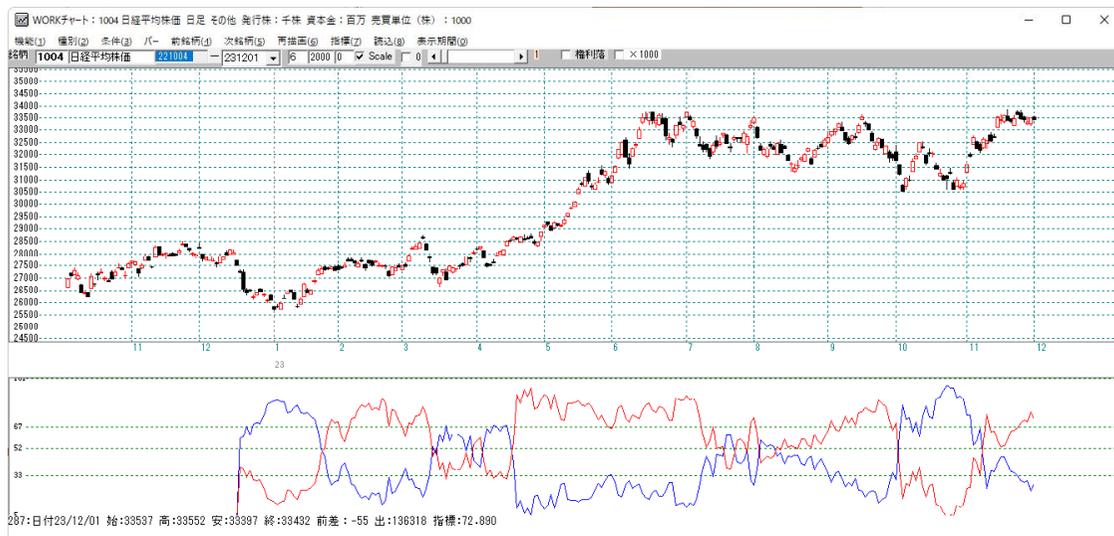


指標選択画面が表示されます。

ここで、「重書き」と「目盛合わせ」の両方にチェックを入れます。

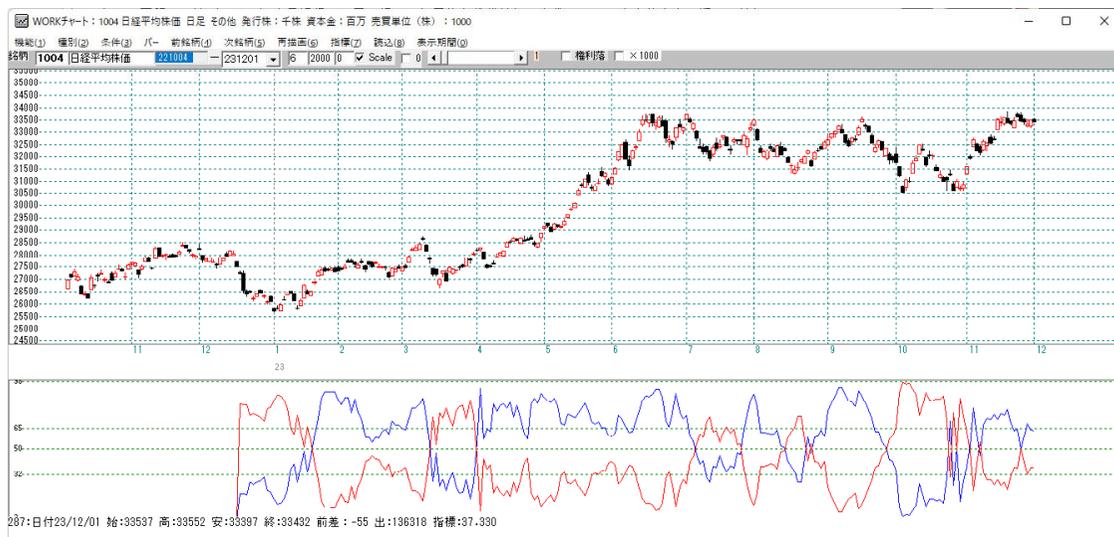


「機能」 → 「WORK合格数」 → 「%表示」 から57番です。



上向きと下向きのグラフですから、正反対の表示となります
それぞれのグラフをこのように重ねて表示させると、それがよく分かります。

14日 相対力指数（RSI）の50以上と50以下のグラフ



相対力指数は0から100の間を動く指標です。その中心は50。

50を中心に正反対のグラフ表示となります。

順位相関係数は-100から100の間を動く指標なので、中心は0です。

0以上と0以下のグラフを重ねると上の相対力指数のグラフと同様に正反対の表示となります。

正反対のグラフを重ねて表示させると何か発見があるかもしれません。

合格数グラフの元となるデータはCSVファイルに保存されています。

「合格数検索」を実行すると勝手にCSVファイルが作成されます。
EXCELなどで表示も出来ます。

保存場所は[C:\¥WinJPDta]フォルダ中

ファイル名は、例えば58番であれば、

日足 WorkDay58.csv
週足 WorkWek58.csv
月足 WorkMon58.csv

となります。

内容

	A	B	C	D	E
271	271	20231108	149	66.22	
272	272	20231109	98	43.56	
273	273	20231110	54	24	
274	274	20231113	82	36.44	
275	275	20231114	80	35.56	
276	276	20231115	95	42.22	
277	277	20231116	104	46.22	
278	278	20231117	104	46.22	
279	279	20231120	94	41.78	
280	280	20231121	81	36	
281	281	20231122	79	35.11	
282	282	20231124	74	32.89	
283	283	20231127	66	29.33	
284	284	20231128	63	28	
285	285	20231129	66	29.33	
286	286	20231130	51	22.67	
287	287	20231201	61	27.11	
288	288	20231204	0	0	
289	289	20231205	0	0	
290	290	20231206	0	0	
291	291	20231207	0	0	
292	292	20231208	0	0	
293	293	20231211	0	0	
294	294	20231212	0	0	
295	295	20231213	0	0	
296	296	20231214	0	0	
297	297	20231215	0	0	
298	298	20231218	0	0	
299	299	20231219	0	0	
300	300	20231220	0	0	
301					

D列が%です。

C列が数です。